



改修後の清里小学校体育館



餅投げでは児童が大喜びでした

1/19

～子どもたちや地域の方が安心して利用していただくために～

『清里小学校の体育館の改修工事が完了しました』

清里小学校の体育館の改修工事の完了に伴い、多数の来賓や保護者、地域の方の出席のもとお披露目式が行われました。

この改修工事は、体育館が昭和53年に建築されて以後、45年間にわたり利用されてきましたが、老朽化に伴い施設の長寿命化を図ることを目的として行われたものです。改修工事には、屋根・外壁・床・各室内の内装改修、照明のLED化、音響設備更新の他、階段の手すり設置や段差解消などのバリアフリー化などが施工されています。

また、多目的に利用できる施設が増設され、給湯室や多機能トイレ、エアコンが設置されており、災害時の避難所をはじめ、学校の相談室や放課後の活動場所としても利用できます。

お披露目会では、中逸町長から本工事を施工した興亜建設工業株式会社へ感謝状が贈呈され、児童たちからお礼の言葉や歌などが披露された他、餅投げが行われました。



感謝状を手に詩碑の横に立つ大崎会長



競りで落札していく参加者たち

1/10

令和5年度春の叙勲で旭日単光章を受章
大崎正志長洲町商工会長が海達公子詩碑を寄贈

千鳥
波うちはを走ってきた
さく／＼足かたをつけて走ってきた
杭のところでまで走ってきた
ふりむいたら
足かたはみんなきえてあたたか
千鳥がかたまって鳴いて行く

大崎正志長洲町商工会会長（出町区）は、令和5年度春の叙勲で旭日単光章を受章した記念として、夭折の少女詩人・海達公子氏の作品「千鳥」が彫られた、第39号海達公子詩碑を荒尾干潟水鳥・湿地センター前に寄贈・設置しました。

大崎会長は、「長洲町と荒尾市の架け橋になればとの思いを込めて設置しました」と話しました。

1/11

九州で唯一
金魚とコイの初競りが開催されました

長洲観賞魚競売場（福永誠二代表）は、同競売場で金魚とコイの初競りを開催しました。

この日は、約1万匹の金魚とコイが九州をメインとした全国19の業者から出品され、養殖業者や愛好家など約60人が集まり、屋内の水路でカゴに入って流れる金魚とコイを競り合いました。

落札された最高額のもの、コイでは「昭和三色」が2万2千円、金魚では体長約36センチの「ジャンボシガシラ」が5万8千円でした。

また、当日は長洲小3年生の児童が総合学習の一環として会場を見学し、「いろいろな種類の金魚やコイがいて驚きました。競りでたくさん買われる方がいらっしやっただけ、すごいなあと思いました」といった感想を話しました。

1/7

令和6年長洲町消防出初式



令和6年長洲町消防出初式で表彰された優良団員は、次のとおりです。（敬称略）

消防庁長官表彰（退職消防団員報償）

古賀 達也・下田 一義・磯野 博・柴田 秀樹

消防庁長官表彰（永年勤続功労章）

竹下 浩之

日本消防協会表彰（功績章）

杉本 和明・左村 謙明

日本消防協会表彰（精績章）

池上 公紀・益永 周房・尾田 清文・竹本 孝治

日本消防協会表彰（勤続章）

矢田部幸徳・竹下 浩之

熊本県消防協会長表彰（功績章）

金森 秀益・松岡 高史・五十嵐史紘・恒松 大地
熊本 岳範・村田陽二郎・高本進一郎・村上 聖裕
上原 雄志・濱嶋 伸也・下河 泰文・嶋田 健太
高本 崇介・田上 春季・松尾 耕平・馬場 成彦
服部 陽一・五十嵐礼将

熊本県消防協会長表彰（勤績章）

宮田多嘉志・福田浩太郎・丸林 大輔・小川 真広
木原 弘智・船津 学

熊本県消防協会玉名郡支部長表彰

津田 啓太・藤木 伸教・長田 修平・田中 伏美
坂田 真一

長洲町長表彰

荒西 晃平・高村 夜斗・濱田 辰浩・濱嶋 昭平
浦部 孝太・中尾 卓哉・西川 加織・落合 祐聖

玉落とし競技

優勝：8分団、準優勝：14分団、3位：3分団





熱心に耳を傾ける生徒たち

1/16・18 腹栄・長洲中学校で「思春期教室」を開催

はぐくみ館では、性や性行動についての正しい理解や性情報に対する判断力を身につけることを目的に、中学2年生を対象として思春期教室を開催しました。

当日は、講師として九州看護福祉大学の牛之濱先生と大橋先生をお迎えし、ネット社会における情報があふれる中で性や性行動に関する正しい情報の選択方法や、SNS等を使った性犯罪に巻き込まれないために知らない相手と個人情報をやりとりしないこと、何かあった時は誰かに相談することなどについて学び、理解を深めました。



勢いよく駆け出す選手たち

1/14 郷土の思いを背負って力走！ 第48回玉名駅伝が開催されました

第48回玉名駅伝が和水平町体育館をスタート・ゴールとするコース（10区間41.5km）で開催され、町内からも選抜された選手が参加しました。町チームは、代表選手が一丸となって最後までタスキをつなぎ、6位でゴールしました。

なお出場した選手は次のとおりです。（※敬称略）
監督：鈴木 康博 マネージャー：杉本 健悟
1区：増永 一心 2区：西川 侑里 3区：横尾 駿
4区：猿渡 結斗 5区：大岡 亮介 6区：福田 みさ
7区：永田 耕司 8区：石川 勉 9区：濱北 佑斗
10区：中島 胡太郎
補員：寺田 伊央里、城戸 英二、正留 駿、谷岡 航来、横尾 悠、中島 美羽



大会に出場した選手たち

12/23 長洲町テニス協会長杯小中学生シングルス大会が行われました

長洲町テニス協会主催、長洲町教育委員会および熊本日日新聞社の後援により、第8回長洲町テニス協会長杯小中学生シングルス大会が開催されました。大会には町外からも含め41人の選手が参加し、懸命に試合に臨む姿が見られました。

町内の入賞者は、以下のとおりです。

【男子Aクラス】 (中学2年生)	1位	腹栄中学校	荒木 蓮翔
	2位	腹栄中学校	中島 豪
	3位	腹栄中学校	瓜生 尚稀
【男子Bクラス】 (中学1年生)	1位	腹栄中学校	荒木 愛弥
	2位	腹栄中学校	西尾 悠良
【女子Aクラス】	1位	腹栄中学校	池田 早希
【小学生クラス】	2位	腹赤小学校	耘野 琢治
	3位	長洲小学校	前村 芽依



全国制覇を成し遂げた三角監督（最後列の左から2人目）とチームの子どもたち

JFA 第47回全日本U-12サッカー選手権大会 三角将行さん（腹赤区出身）が少年サッカーチームを全国大会優勝へ導く！

本町腹赤区出身の三角将行さんが監督として、サッカーチーム「ソレッツ熊本U-12（熊本市）」を全国大会優勝へ導きました。

これは、令和5年12月26日～12月29日にかけて行われた「JFA 第47回全日本U-12サッカー選手権大会」において、全国から8,088チームが出場する中で見事優勝を飾ったものです。

三角監督は、4年前から同チームの監督として選手の育成やチームの強化に努めており、長洲町内においても毎週、小学生を対象としたサッカースクールを実施しています。「試合を進めるごとに子どもたちの成長を見ることができました。子どもたちの可能性は無限大だと感じました」と、三角監督は大会を振り返りました。



ミニ門松を寄贈したボーイスカウトの皆さん

12/28 今年で10年目 ボーイスカウト長洲第1団がミニ門松を寄贈

日本ボーイスカウト熊本県連盟長洲第1団（入口秀記団委員長）は町役場を訪れ、町・町議会・町教育委員会に手作りのミニ門松を贈呈しました。

これは、毎年行われているもので、今年で10年目の取り組みとなります。

ミニ門松を受け取った中逸町長は、「毎年ありがとうございます。ボーイスカウトでは多くの貴重な経験ができると思います。身に付けたことを生かして、さまざまな活動で頑張ってください」と感謝の言葉を述べました。



表敬訪問を行った池上さん（左）と酒井さん（右）

12/25 長洲町出身のプロサッカー選手・池上文二さんと酒井崇一さんが表敬訪問

サッカーJ2でそれぞれ活躍する、長洲町出身の池上文二さん（建浜区出身）と酒井崇一さん（下東区出身）が町役場へ表敬訪問を行いました。池上さんは平成29年シーズンから現在までレノファ山口で活躍しており、今シーズンは29試合に出場し、5得点を決めています。酒井さんは、今シーズン、ロアッソ熊本からザスパクサツ群馬へ移籍し、40試合に出場しました。

中逸町長からは、「お二人のご活躍を子どもたちが楽しみにしています。これからはさらなるご活躍を期待しております」とエールが送られました。

二人からは、「帰ってきたときは子どもたちと一緒にサッカーをしたいと思っています。また熊本で開催される試合を見に来てくれたらうれしいです」と、町の子どもたちに向けたメッセージが送られました。



感謝状を手にする那須会長（株式会社那須商会・左から3人目）、福田次期副会長（株式会社福田建設・左から2人目）と東支店長（株式会社肥後銀行・左から1人目）

12/21 青少年の健全な育成を願い 肥後長洲権会が清里小へー輪車、電動式のこぎりを寄贈

肥後長洲権会（那須敏会長）は、清里小学校（福山尚美校長）へー輪車2台および剪定用電動のこぎりを寄贈しました。

これは、青少年の健全な育成のために役立ててほしいとの思いから、肥後長洲権会の会員である肥後銀行長洲支店のユーザー会などの52人の有志者から寄贈されたものです。この活動は平成30年度から毎年度行われており、今回で町内のすべての小中学校へ寄贈されたこととなります。目録が贈呈された後、中逸町長から那須会長へ感謝状が手渡されました。

那須会長は、「子どもたちにとって本当に必要なものを寄贈できればと思い、物品を選定しました。このような貢献活動ができるのも、会員の皆さまのご協力があるからこそと思っています。大変感謝しております」と話しました。



大谷選手から寄贈されたグローブを手にする児童たち

1/10 世界で活躍するメジャーリーガーが子どもたちのために 大谷翔平選手から小学校へグローブが寄贈されました

現役のメジャーリーガーとしてロサンゼルス・ドジャースで活躍する大谷翔平選手から、町内の4小学校へ、グローブが3個ずつ寄贈されました。

これは、大谷選手が日本国内にある約2万校すべての小学校に3個ずつ、合わせて約6万個のグローブを寄贈する活動の一環として、本町の小学校にも寄贈されたものです。また、町教育委員会からは、野球用のボールが1ダース（12個）寄贈されました。

グローブとボールを受け取った児童は、「大谷選手は、野球を通して努力することの大切さなどを伝えたいと考えておられると思います。みんなと楽しく野球をしたいです」と感謝の言葉を述べました。